

# 患者の皆様へ

2020年7月1日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、診断困難な特発性肺線維症（IPF）の臨床診断における人工知能の有用性について研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2010年1月から2019年12月までに当院で病理診断にて原発性肺癌と診断された患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「特発性肺線維症（IPF）の臨床診断への人工知能の応用」

## 2. 研究の意義・目的

原発性肺癌と病理学的に診断された症例において、機械学習を用いて患者さんの臨床経過、血液検査、背景肺を中心とした画像診断を解析し、新たなIPF診断方法を開発することを目標としています。これによりさまざまな臨床情報から、今後のIPF診断が容易となる可能性があります。

## 3. 研究の方法

2010年1月から2019年12月の間に、病理診断で原発性肺癌と診断された方の治療歴、既往歴、合併症、経皮的酸素飽和度、検査時間などについて診療録に記載されている範囲で収集して解析を行います。解析日までに対象症例が増加した場合、追加しての解析も可能とします。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名、生年月日住所などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる部屋にあるインターネットから独立しているパソコンで保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関：千葉大学大学院医学研究院 呼吸器病態外科学

本件のお問合せ先：医学部附属病院 呼吸器外科

医師 坂入 祐一

043（222）7171 内線 5464